

NEWS

「永谷園グループ サステナビリティレポート2026」公開
「『味ひとすじ』の精神で築く持続可能な未来」に貢献

株式会社永谷園ホールディングス(社長:上田谷 真一、東京都港区)は、2025年度の永谷園グループのサステナビリティ活動をまとめた「永谷園グループ サステナビリティレポート 2026」を作成し、2026年8月31日(月)にホームページ上に公開いたしましたのでご報告いたします。

永谷園グループは、企業理念「味ひとすじ」の精神で、「幸せで豊かな社会」の実現に向けて、私たちにできることを考え取組むことで、持続的な成長を目指しています。

グループ横断型のサステナビリティ委員会を中心に、社会や環境が抱える課題の解決に向けて、ESGの視点から取り組みを中心に、社会や環境が抱える課題の解決に向けて、ESGの視点から取り組みます。持続可能な社会の実現と、当社グループの持続的な成長を目指します。



レポート表紙(パラリンアート作品※)

- ・作品名：芽吹く
- ・作家：工房はんどまと

※パラリンアートとは一般社団法人障がい者自立推進機構が運営する「障がい者の芸術表現を通じ、社会参加と経済的自立を推進する」活動です。

「サステナビリティレポート2026」概要

●トピック● 国内循環型クローズドリサイクルの導入

環境の取り組みとして、グループ内企業、永谷園フーズでは、資源循環システム「国内循環型クローズドリサイクルスキーム」を導入しました。

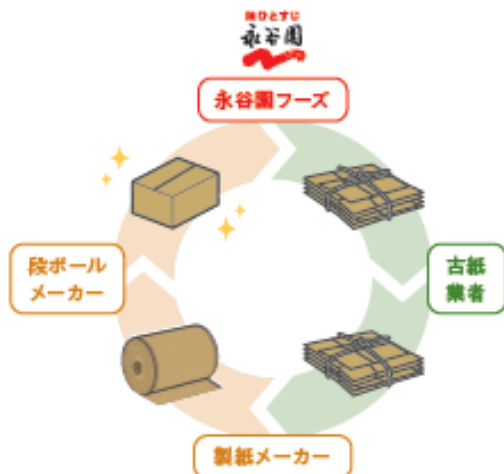
工場から排出される段ボール古紙を、指定の古紙回収業者を通じて、国内の指定製紙メーカーへ納入。回収された古紙は、段ボール原紙や箱へと再生され、当グループの製品包材として再利用されます。

この取組みにより、自社排出古紙での利用が可能となり、

「Reduce (ゴミ削減)」

「Reuse(再利用)」

「Recycle（再資源化）」の3Rを実現しました。



●掲載内容

- 1. トップメッセージ
- 2. カンパニーインフォメーション(サステナブル経営の推進、バリューチェーンにおけるSDGsマッピングなど)
- 3. 環境(マテリアリティ、TCFD提言の取り組み、食品ロス削減など)
- 4. 社会(食品安全、人権の尊重、人権方針、人材戦略、健康経営など)
- 5. ガバナンス(コーポレートガバナンス)

●報告対象期間

2025年4月～2026年3月 ※一部、当該期間外における取り組みが含まれています。

※こちらからもご覧いただけます▶



●掲載場所: 永谷園ホールディングスHP

サステナビリティレポート URL: https://www.nagatanien-hd.co.jp/assets/pdf/nagatanien_ER2026.pdf

サステナビリティページ URL: <https://www.nagatanien-hd.co.jp/sustainability/>

参考 永谷園グループの取り組みについて

●サステナビリティ方針

●環境基本方針

サステナビリティ方針

「味ひとすじ」の想いを常に抱き、
オリジナリティの精神
おいしさを提供し続ける決意
お客さまに寄り添い、思いやる気持ちを持ち、
様々な社会の課題に対して、
食を通じた活動を通して取り組みます。
そして持続可能な「幸せで豊かな社会」づくりに
貢献してまいります。

永谷園グループ 環境基本方針

- 環境理念** 永谷園グループは、「味ひとすじ」の企業理念のもと、お客さまに満足していただける商品・サービスを提供するとともに、社会の一員として地球環境保全の大切さを理解し、環境に配慮した企業活動に取組み、幸せで豊かな社会づくりに貢献します。
- 行動指針**
- 1 環境に関する法令などの遵守はもとより、環境保全を推進していくための体制を構築し、地球環境への負荷軽減に継続的に取組みます。
 - 2 環境保全に配慮した開発・生産に取組み、「環境に負荷の少ない商品・サービス」を社会に提供します。
 - 3 廃棄物の削減、リサイクルの推進および省資源・省エネルギーに努め、目標を掲げ「環境問題へ真剣に取組む事業所」を目指します。
 - 4 社員一人ひとりが前向きに環境問題を考え、「環境問題へ真剣に取組む社員」としての誇りを持ちます。

●マテリアリティ

重要課題	方針	主な実施項目	指標	目標 (2030年度)	対象	対応するSDGs
食の 安全安心	● お客さまに安心して召し上がっていただけるよう、独自の品質保証システム「NAFSAS (ナフサス) Ⅲ」により、安全安心な商品づくりを徹底いたします。 ● 食物アレルギーを持つなど、食事に選択肢が必要な方に、安心して召し上がっていただける商品の開発・徹底した製造・品質管理、社会への理解の啓蒙活動などを積極的に実施します。 ● 防災食の開発に積極的に取組みます。	● NAFSASの管理 ● 食物アレルギー対応 ● 災害備蓄品の開発・販売	方針に沿った内容が維持されている状態		永谷園ホールディングス 永谷園 永谷園フーズ	
気候変動 への対応	● 製造工場や事業所を対象にCO₂排出量の削減を目指します。 ● 環境に配慮した商品開発を推進していきます。	● CO₂排出量削減 ● 環境配慮資材使用 ● TCFDへの対応	CO ₂ 排出量削減 水使用量削減	(2018年度比)30%削減 (2018年度比)30%削減	永谷園ホールディングス 永谷園 永谷園フーズ	
資源循環・ 廃棄物削減	● 廃棄物削減のため、廃棄物自体の排出削減と再資源化を進めていきます。	● 廃棄物排出量削減 ● 再資源化率アップ	廃棄物量削減 再資源化率	(2018年度比)20%削減 95%	永谷園 永谷園フーズ 国内グループ会社の 製造工場	
持続可能な 調達	● 安全性はもとより、環境や人権への影響に配慮した安定調達をお取引先さまと協働して進めていきます。	● 調達方針策定、実践	策定した「調達方針」がお取引先さまに共有され、 遵守されている状態の継続			
人権への 対応	● 当社グループにかかわるすべての人の人権を尊重します。持続的成長を実現する体質への転換に向け、学びの場の拡大、「組織全体」で育む環境づくりなどを通して、一人ひとりの経験やスキルの向上を図り、多様な人材が活躍できる仕組みづくりを進めていきます。また、従業員が健康でやりがいを持って働けるよう、環境整備に取り組んでいきます。	● 人的資本への対応 ● 人権方針策定、実践	女性管理職比率 男性の育児休業取得率 女性の育児休業取得率	15% 50%以上 100%	永谷園ホールディングス 永谷園	

※NAFSAS (ナフサス): 永谷園味ひとすじ食品安全保証システム (Nagatanien Aijihitosuji Food Safety Assurance System) の頭文字をとったもの。

【お問い合わせ先】

報道各位からのお問い合わせ先 : (株)永谷園 広報室 石井、内田 TEL. 03-5401-7665